

家を建てる。その幸せの方程式。

こだわりの
注文住宅

眺望と一体となった ボーダーレスな住まい



開口部には空に向かって傾斜する2mの庇を設置し、開放感と日除けを両立。リビングのアクセントウォールに外壁・アプローチと同じ素材を使用。内外のつながりを演出している



リビングの隣に設置されたガレージ。最大4台入庫可能。空調のほか、リビングと直接つながる扉を設けている



ほとんど仕切りがないパブリックスペース。大きな開口部と相まってダイナミックな空間を実現している



吹き抜けの天井から光が注ぐエントランス



アプローチ。夜は光のステップがゲストを優しく誘う

資料請求・問合せ先 / **アーネストアーキテクト株式会社**
東京都港区芝5-5-1 ☎03-3769-3333
<http://earnestgroup.net>

DATA

- 所在地: 首都圏
- 敷地面積: 433.24㎡
- 延床面積: 306.59㎡

アプローチを抜けると、目の前に飛び込んでくるのはダイナミックな眺望。パブリックスペースの窓二面に広がるそのパノラマは、空の表情とともに刻一刻と変化し、夜になるとライトアップされた植栽や眼下に広がる街の明かりが一面に浮かび上がる。

アーネストアーキテクトが設計したこの家は、海の街を一望できる丘陵にあり、家族の好みや希望はもとより、地理的特徴を活かした工夫を随所に盛り込んだという。

例えば、大開口部の庇が、空に向かって強く傾斜しているのは、室内に入る日差しを和らげながら、空を最大限視界に入れるため。加えて1階部分が庭面より1mほど高くなっているとあって、ちょっとした浮遊感があり、家族やゲストの心を解放する。

リビングの隅にある扉を開けば、クラシックフェラーリなどの名車が現れる。最大4台入庫できるガレージで、車両のコンディションを維持するための空調管理を導入しているあたりにも、施主のこだわりが垣間見える。

居住空間のほぼ中央に位置するのは、吹き抜けのエントランス。その天窓からの光が、住まい全体に広がっており、先述した眺望と相まって、空間に開放感と奥行き、そして自然のなかで過ごす心地よさをダイレクトにもたらしている。

美しさとモダンの奥にある、心地よさ。この家は、それらを巧みに高次元で融合した。